

授業科目	嚥下障害 I (基礎と評価)				
担当者	中村 靖子				
実務経験者の概要					
学科名	言語聴覚専攻科	学 年	1 年	総単位数	1 単位
		開講時期	前期	選択・必修	必修

■ 内 容

- ・嚥下障害とは何かを学ぶ。
- ・正常嚥下の解剖やメカニズム、嚥下障害の検査・評価等、基本的な事項について学ぶ。

■ 到達目標

- ・嚥下障害とは QOL 全てに関わる障害であるということを理解することが出来る。
- ・嚥下に関わる解剖、生理、神経機構、病態を理解することが出来る。
- ・嚥下障害の評価法を理解し、簡易検査は実施できるようになる。

■ 授業計画

- 第1回 嚥下障害とは何か
- 第2回 解剖 (口腔)
- 第3回 解剖 (咽頭)
- 第4回 解剖 (喉頭、食道)
- 第5回 生理と神経機構 (口腔と咽頭)
- 第6回 生理と神経機構 (喉頭と呼吸)
- 第7回 嚥下モデル
- 第8回 病態 (中枢性、末梢性)
- 第9回 病態 (神経筋疾患、器質性)
- 第10回 評価とは何か
- 第11回 発声発語器官の評価
- 第12回 嚥下簡易評価 (RRST、MWST、FT)
- 第13回 その他の評価 (超音波検査、咳反射テストなど)
- 第14回 リスク管理
- 第15回 まとめ及び実技試験の説明

■ 評価方法

筆記試験 (100点満点) と実技試験 (100点満点)。どちらも60点以上で合格。両試験に合格すること。

■ 授業時間外の学習 (予習・復習等) について

講義内で小テストを行いますので復習をしておいてください。また、演習が多い講義です。スムーズに評価ができるようになるまで練習をしてください。

■ 教科書

書 名：言語聴覚士のための摂食・嚥下障害学
 著者名：倉智雅子
 出版社：医歯薬出版

■ 参考図書

書名：摂食嚥下リハビリテーション 第3版

著者名：才藤栄一 植田耕一郎

出版社：医歯薬出版

■ 留意事項

■ 講義受講にあたって

嚥下障害を学ぶ上で基礎となる科目です。しっかりと基礎知識を身に付けてください。